



「積雪の国宝瑠璃光寺五重塔、東雲(しのめ)の刹那:和紙に墨」 作者 原田 哲也(会員No.759)

国宝「瑠璃光寺五重塔」の
檜皮葺屋根の全面ふき替
え工事が、約70年ぶりに
実施されています。
足場が取り払われ、再び
元の姿が見られるよう
になるのは2025年秋の
見込みだそうです。



< 目 次 >

秋草会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
山口市長年頭ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	4
山口市議会議長年頭ご挨拶・・・・・・・・	5
【リレーコラム】～ふるさとの味 外郎の触感～	6
令和5年度山口七夕会ふるさと山口本部「秋の講演交流会」の報告	8
山口七夕会 親睦ゴルフ「第八回 八木重二郎杯」レポート	9
秋の紅葉ウォーキング 2023	10
山口七夕会秋の交流会の報告	11
「山口国際フレンズネット実行委員会」の立ち上げと最初のイベント	12
わたしと京子さんと講談と	14
叶純子コンサートレポート	15
私が、山口市に定住をきめた訳・・・「縁ありて山口」	16
私とシャンソン	18
日本からアメリカ合衆国へ、和・フォーコーナーズ・ツアー	20
新入会員の皆さん／各種イベント等のお知らせ	22
投稿募集／公開会員名簿への掲載承諾のお願い／メールアドレス登録のお願い	24
編集後記	25

※会報は山口七夕会のHPにもアップします。カラー版をHPでお楽しみください。

会長挨拶

山口市から交流で新しい発信を



明けましておめでとうございます。

昨年までのコロナがすっかり後退しましたが、年明け早々、能登大震災、日航機海保機衝突事故など起こり、被災された方々のお見舞いと、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また世界情勢や国内政治も落ち着かない状態です。それに負けず、まずは前向きに頑張りましょう。

今年令和6年は七夕会設立25周年の年になります。山口市役所関係の方々をはじめ、七夕会の幹事・会員の皆さんが支えて下さったお陰だと改めて感謝申し上げます。七夕会が企画されたのは東京都世田谷区の三軒茶屋で山口市にまつわる商品の販売だったと聞いていますが、昨年も10月中旬に三軒茶屋で山口市役所の方々や山口の商品を製造・販売される方々、それに七夕会の幹事・会員の皆さんが参加し、賑やかに開催されました。私も少し覗かせて頂きましたが、その賑わいと皆さんの熱気に感心しました。地下鉄の三軒茶屋駅から始まる「いわゆる昔風の商店街」に入ってすぐの広場が会場です。幟が立ちハッピーを着た方々が賑わいを更に盛り上げています。通りがかりの人が「何だろう？」と立ち寄りたくなる雰囲気でした。この会場で、商品を通じて山口市を知って頂くという試みが浸透して行くと感じられました。首都圏在住の山口市出身の方々や山口市に何らかの関りを持つ方々にとって、ふるさとの商品は懐かしく、ホットする何かを届けてくれると思いました。

改めて思うのは七夕会がこうして続いているのも、会員の皆さんが各種のイベントを考え・実行しそれに参加して頂いているお陰だと思います。会則にもあるように「ふるさと山口の発展に寄与する」という七夕会の目標に向け、私ども会員相互の交流を果たすことが大切だと思います。その為には総会、交流会、ウォーキング会以外にも、七夕会幹事の皆さんが若い人たちの心に訴える企画をどんどん考え実行してくれています。新しい通信ネットワークを通じて若い人たちに七夕会の企画へ参加を呼び掛けています。若い人々が七夕会をさらに盛り上げて下さることを期待しています。新しい形での七夕会の運営をお願いする次第です。

昨年夏の総会では伊藤山口市長様から「大内氏と山口市」のお話を伺うと共に、「大内氏がわかる本」3冊のご紹介がありました。今まで漠然としか知らなかった山口市と大内氏との関係が分かりやすく書かれた本です。山口市も市内の大内文化に係る場所を改修し紹介する動きがありますが、更に充実させて頂きたいと思います。大内文化が栄えた山口と京都や他の地方との関係にも目を向け、今後とも情報を集めるべくご協力お願いします。

最後に七夕会の機関紙「会報」に皆様からのご寄稿をお願いしたいと思います。特に「ふるさと山口市」に関する現在・過去の情報の収集・拡大を期待しています。「ふるさと山口市の発展に寄与する」為に今後とも七夕会を通じて努力して行きたく、会員皆様のご協力とご支援を賜りたいと思います。

令和6年（2024年）1月

山口七夕会 会長 秋草史幸

年頭ご挨拶



まずは、元日に発生いたしました能登半島地震でお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災された方々が一日も早く平穏な暮らしに戻っていただくことができますよう、引き続き、でき得る限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

改めまして、新年明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え、秋草会長様をはじめ、会員の皆様方に謹んで新年のお喜びを申し上げます。また、平素から市政各般にわたり格別の御理解と御協力を賜っておりますことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年1年を漢字1文字で表しますと、私は「甦」の文字を連想いたします。この漢字は「よみがえる」とも読みまして、「失っていた活力を取り戻す」という意味がございます。新型コロナウイルス感染症の影響で低迷していた人の移動や経済活動が活発化し、市内に少しずつ活気が戻りつつあることを実感した1年であり、一方で、長引く物価高騰や6月から7月にかけての大雨災害など、市民生活に大きな影響を与える出来事もございました中で、市民の皆様が安全・安心に今の暮らしを過ごせる状況を取り戻せるよう、市民生活の安定化に向けた支援や災害復旧に全力で取り組んだ1年でした。

こうした中で迎える本年を、私は「ずっと安心 元気山口」の年と位置付け、まずは、物価高騰等の影響から市民の皆様の暮らしと地域経済を守り抜きますとともに、防災・減災の取組を加速化させ、災害に強いまちづくりの取組を力強く進めてまいります。その上で、教育、医療・介護、交通、産業振興、環境などの、あらゆる分野における取組を全力で進めてまいりたいと決意を新たにしたいと考えています。

中でも、小郡都市核づくりとして、新山口駅に隣接した、高い稼働率で大変な人気を博しておりますKDDI 維新ホール等を活用し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図りますとともに、日本国際博覧会（大阪・関西万博）を見据えたJR山口線の利用促進策など、新山口駅を山口県の玄関として、さらなる発展を目指す取組を進めてまいります。また、山口都市核では、新本庁舎と周辺エリアの整備や中心商店街の活性化に向けた取組、湯田温泉パークの整備など、山口市の未来を展望したまちづくりを着実に進めてまいります。

加えて、子育て世代からさらに選ばれるまちに向けた環境づくりや、市民や地域、企業などの皆様の未来に向けたチャレンジを、3つのトランスフォーメーション（HX・DX・GX）の取組により支えてまいりますことなどで、本市に暮らし、学び、働く皆様とともに「ずっと元気な山口」の実現に向けたまちづくりの歩みを着実に進めてまいりたいと考えております。

結びとなりますが、本年は、山口七夕会発足から25年目を迎える記念すべき年でございます。全国各地に山口七夕会のネットワークが広がっておりますことを心強く感じますとともに、ふるさと山口の発展を願い、御尽力いただいております会員の皆様方に敬意を表し、改めて心より感謝を申し上げます。どうぞ会員の皆様におかれましては、引き続き、本市のさらなる発展のため、厳しくも温かい視点で本市のまちづくりへの御提言や、本市の魅力発信へのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

山口七夕会のさらなる御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸、そして益々の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

山口市長 伊藤和貴

年頭ご挨拶



年頭の御挨拶を申し上げます前に、元日に発生いたしました能登半島地震により、お亡くなりになられた方々と御遺族に対しまして、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様に心からのお見舞い申し上げます。併せて、被災地の支援に御尽力されている方々に深く敬意を表します。被災地の日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

改めまして、新年明けましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、市議会を代表いたしまして謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

また、山口七夕会が平成11年2月に設立されてから本年度で25周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。秋草会長様をはじめ、会員の皆様方におかれましては、永きにわたり多彩な人脈を生かし、ふるさと山口の発展を

こいねが

希う郷土愛により、多方面にわたり御尽力を賜っております

することに敬意を表しますとともに、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行され、人の移動や経済活動が急速に活発化し、地域の運動会や祭りが4年振りに開催されるなど、市内に活気が戻りつつあることを実感した1年でした。

本市では、コロナ禍からの社会経済活動の回復に向けた取組や、物価高騰対策などの市民生活の安定化を図る取組を鋭意進めております。こうした中、本年は、第二次山口市総合計画後期基本計画の2年目を迎え、今の市民生活の安全・安心を確保しつつ、人口減少対策を図り、本市の将来にわたる活力を維持していくため、多様化する社会のニーズを的確に捉えながら、デジタル化や地域脱炭素など、新しい時代の流れへの対応を踏まえた取組を引き続き積極的に進め、「今も未来も安心して暮らせる元気な山口市」の実現に向け鋭意取り組んでまいることといたしております。

また、本市議会では、昨年3月に会議規則を改正し、出産、育児、看護、介護等により、定例会の会議を欠席した場合においても議員活動ができるよう、新たに文書質問制度を導入し、議員活動と家庭生活の両立に向けた環境を整えまして、市民の皆様の御意見をより一層市政に反映することのできるよう取り組んでいるところでございます。

今後とも、地域社会が急速に変化する中で多様化、複雑化する地域課題の解決に資するため、開かれた議会運営、健全で活力ある地方議会の実現を目指し、議員一同、鋭意努力してまいり所存でございますので、引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山口七夕会の益々の御発展と会員の皆様の御健康と御多幸、そして、なお一層の御活躍を祈念申し上げまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

山口市議会議長 入江幸江



【リレーコラム】～ふるさとの味 外郎の触感～

福田 百合子（会員No.492）

「外郎」この漢字を、そのまま素直に、「ういろう」とは、とても読めません。それなのに、山口では、誰も皆ごく自然に、「ういろう」と呼んで親しんでいます。懐かしい味、ふるさとのお菓子の呼び名です。

御堀（みほり）の外郎家、福田屋が、その元祖と言われています。私が産れ育った家です。外郎屋の末娘の福田百合子です。

今も残る母屋、外縁の家と、離れ部屋の奥に、細い釣り屋で繋がった外郎の製造場がありました。両親と叔父、伯母夫婦が毎日、製造に従事していました。

朝早く、小豆をゆでる温い匂いが、そこら中一帯にただよったものです。小豆は、外郎の素となる、こし餡を作る為の、大切な材料でした。

しっかり、ゆで上げた小豆を、大ざるに打ち上げ、特大のすりこ木で、皮をはがすのです。中味だけを、しぼって、こし餡にするのです。外郎の素として、蔵（砂糖倉と呼ぶ）へ運び込まれました。

この、こし餡と、あの不思議な「セン」という白い粉がまぜ合せられ、蒸し器で、蒸した一枚物が、外郎です。表面は少々波打ち、裏側は、むし器に敷かれた布目が附いて仕上がりました。

一本ずつの切り目の刻まれた、きり板にのせ、木綿糸で切り分けられるのです。祖母や母が、ひる返すような手さばきで、さっと、切り分ける見事さを、憧れをもって眺めたものです。ぬり箱に、切り分けられた外郎が並びました。

前夜、夜なべ仕事に、家族一同が、乾いた竹の皮を、濡らし布巾で、丁寧に、ぬぐい、折りたたんで、膝で、押さえる作業に励みました。外郎はこの竹の皮に包まれました。抗菌作用もあり、竹の皮の手触りや、かざ（匂い）も好まれたのです。

外郎は抹茶席の主菓子として、抹茶にもよく合い、反対に、番茶、しぶ茶などにもよく馴染みました。

外郎屋の外縁、椋木との一木という厚さの松やにの吹く縁側で、誰もが気軽に外郎を楽しみました。

萩街道と呼ばれる防府への道筋、松並木に馬車の馬をつないで、外郎で一服。学生帽やマン

ト姿の若者達が、寝そべったり、たむろして、ワイワイと。

けれども店の壁には、恭々しく、御用提灯の外箱が掛けられ、藩公毛利様からのお買上げならば、この提灯を、赤々明るくともして、届けたものとか。

当時、瀬戸内、柳井に滞在した国木田独歩は、三田尻港から山口へ入る道すがら、その日記に「鳴飛（鳴る滝のこと）依然たり、外郎屋依然たり。」と書き残し、何時も変らぬ風情を喜んでいます。そう言えば、下関の豪商、白石正一郎の日記、七卿落ちの公卿日記、初代県令（県知事）中野梧一日記にも、三堀（御堀）外郎屋で、県庁からの迎えを待つと、書き残しているのです。

峠の茶屋の趣というより、ほっと一息、この場での話し合い、談合の場として重宝されたのでしょう。

やさしい口ざわり、懐かしいほの甘さ、ふるさとの安らぎの思いが伝わる外郎の良さ、有難さは、きっと、あの不思議な「セン」によるものかも知れません。

わらびの根を叩いて洒し、その澱粉を「セン」と言うのだそうですが、大体、どんな字を当てるのか。昔、中国の奥地に「仙」と言う国があり、そこから？いやいや、琳聖太子という百済の皇子の遺跡、大内の乗福寺に近い福田だから、そちらからの渡来人？

いやいや福田屋の裏山の古墳が見つかって掘り出され、博物館横庭に、「川向出土」として再現されているのを見れば、原住民？

外郎の味の歴史は古く長く、懐かしく、浪漫に満ち、夢を誘います。

とり立てて飾ることもなく、つつまじやかな色合いと、味わいで、外郎はいつも、いつまで

も、やさしく、大人しく ふるさとに寄り添い、私達を、楽しくさせてくれるのです。

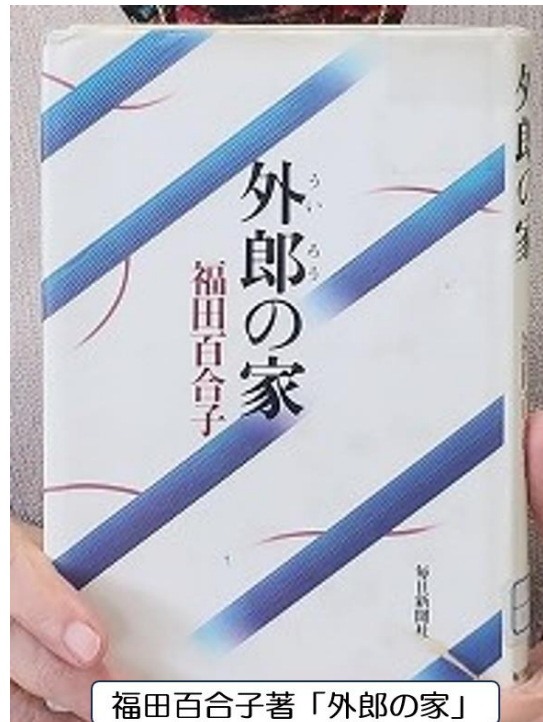
ほの甘く、ほの柔らかく ほのつややかに外郎は、ふるさとと共に在るのです。

外郎屋の末娘は95歳となりましたが、山口の外郎は、いつまでも、つやつやと、ほのかなやさしさ、美味しさを保つことでしょう。

補遺

外郎屋福田屋の廃業は、すべてを仕切っていた長男秀太郎のソ連邦抑留、病死の報。そのショックで父の早逝。戦後の土地改革。社会の情勢による結果と考えられます。末娘の私が、もう少し、長じていたら？と思う日もあるのですが。

こし餡を押しつけた丸石が、今も、壺庭の草紅葉の中に、半分埋れて。



福田百合子著「外郎の家」



雪の福田邸



福田邸と虹



ふるさと山口本部「秋の講演交流会」で仮面をつけて踊る福田百合子先生と入江議長



令和5年度山口七夕会ふるさと山口本部 「秋の講演交流会」の報告

ふるさと山口本部・事務局長 庄 栄一郎（会員No.475）

令和5年11月4日（土）18時から、湯田温泉の「セントコア山口」で、講演会67名、交流会68名の参加で開催された。

今回は講演内容が大内文化に纏わることで、松井講師も吉田松陰先生の出で立ちで講演されることから参加者にはできるだけ和服での参加を呼び掛けて開催した。

講演会に先立ち、120万円の絹製の着物を纏った申神本部長が挨拶。（ちなみに司会者はレンタル料（着付け込）3,800円のポリエステル製の着物）

18時10分より、松井邦昭様（山口どこでも紙芝居連絡協議会会長）より、演題「～紙芝居と昔話で綴る～風水の町山口」の講演。

講演では、3つの紙芝居「5人の神様が守る町」、「大内塗人形」、「山口七夕ちょうちんまつり」も上演され、楽しくわかりやすい内容。

山口の昔話「亀山伝説・動く城」の朗読も。美術館と博物館の間にある池の噴水は亀の上にお姫様がのっている。これはお姫様と亀の化身の悲しい恋物語から。殿様は亀の化身の言葉通り、亀のいる島に城を築いた。城は敵が攻めてきても亀が城を動かしたので難攻不落の城だった。しかし城に井戸を掘ったところ岩盤から血のような水が噴き出たことにより城は動かなくなった、という話。亀山の場所には1596年に長山城が築かれたが、いつからか亀山と言われるようになった。

講演後、セントコア山口支配人の安田さんより瑠璃光寺五重塔の改修への寄付のお願い。安田さんは「やまぐち観光応援団～紡ぐ～」の幹事長でもあります。

同会場で19時から交流会。

名田島農産の松崎博明さんより、地球温暖化の影響でコシヒカリに高温障害が出ている。政府にゼロカーボン等の地球温暖化対策の要望の後に乾杯。美味しい料理とお酒に舌鼓を打ちながらビッフェ方式の会食。

開会直後、衆議院議員杉田水脈先生が、安田さんの「瑠璃光寺五重塔の改修」、という話を受けて、観光立国、文化立国を目指し、しっかり文化予算を確保したいと挨拶。

余興は、法人会員の竹内酒造場、金光酒造より日本酒、関さんより徳佐のコシヒカリ「田楽米」、松西さんより「有機栽培の新しょうが」、セントコア山口より入浴券を無償で提供していただき、申神本部長の音頭で大ジャンケン大会。

恒例の総踊りは、ハロウィンに近いことから

AKB48「ハロウィンナイト」。

95歳の福田百合子先生を筆頭に和服の貴婦人も仮面をつけて踊っていただいた。

最後は、山口市民の歌「ふるさとの風」と「絆」を全員で合唱。

21時、福田百合子先生による「ヨー」という掛け声の中締め的一本締めで会を閉じた。



山口七夕会 親睦ゴルフ「第八回 八木重二郎杯」レポート

本部・本部長 藤井 謙志（会員No.611）

秋晴れの中、令和5年11月29日(水)山口七夕会の親睦ゴルフ「第八回 八木重二郎杯」を無事開催する事ができました。11月下旬とは思えないほど暖かい一日となりましたのも、七夕会会員の皆さまの日ごろの行いのお陰かと感謝しております。ゴルフコースは皆様のお気に入り、いつもの PGM 武蔵ゴルフクラブ(Reguler 6,008 ヤード、パー72、PGA 初代会長 安田幸吉 設計、埼玉県比企郡鳩山町大字小用 1026 番地)です。

朝、キャディマスター室前へ集合し、八木重二郎顧問からのご挨拶を頂いたのち、山口七夕会の旗と集合写真撮影をし、OUT スタートのティーグラウンドへ移動しました。本日の参加メンバー中、最高齢 86 歳の梅田圭良さんは前日もラウンドされ、前夜は埼玉県飯能市のホテルに一泊しての二日連チャンでご参加と相変わらずお元気でした。

今回も 2 名の初参加の方をお迎えしての開催となりました。“NPO 法人 ふるさと山口経営者フォーラム会長”の杉山さと美さんと”株式会社 鶴”の代表取締役 今井 達也さんです。

今井さんは練習に熱が入りすぎ、朝の集合写真に間に合いませんでした。また、今日に備えて前日練習し過ぎて腰を痛め、当日急遽ご欠席になったメンバーもいらっしゃいました。皆さん、ぶち練習する方が多いようです。

晴天に恵まれ無風、言い訳のできないコンディションでしたが、グリーンはスティンプメーター 10 フィートと少し早めのセッティングになっていました。親睦ゴルフと言いながらもティーオフすると、そこはゴルファー、皆さん懸命にショットを重ね、楽しいゴルフとなりました。最近のカートはスコアをリアルタイムに入力し、ラウンドしながらコンペ全体の順位やスコアを見ることができますので楽しみも増し、新たな参加メンバーもお名前を覚えて頂きやすくなっています。昔を思い起こすと数十年前のゴルフと言えば、オリンピック、スネーク、ターザン、カラスなど様々な複雑ルール？がありましたが、今は当然ながら基本に忠実なクリーンなラウンドになっています。

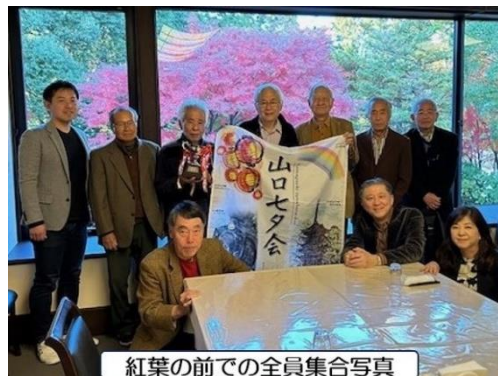
皆さま和気あいあいにラウンドを楽しんでホールアウトした後、コンペルームにて表彰式を行いました。今回の栄えある優勝は武内さんでした。武内さんは何と 3 連覇されました。準優勝は利重さん、初参加のお二人は、今井さんが 3 位、杉山さんは八木顧問から特別に女性優勝賞品を授与されました。飛び賞は 5 位大枝さんでした。おめでとうございます。山口にいたときに宇部 72 カント

リーで行われた“安倍晋太郎外務大臣杯”で優勝させて頂いた事がありますが、私もいつか八木重二郎杯で優勝したいものです。

次回開催は令和6年4月25日(木)を予定しております。初参加大歓迎ですので、皆さまの奮ってのご参加をお待ち申し上げております。

※今回のご参加者：八木重二郎さん、梅田圭良さん、武内浩さん、利重尚義さん、杉川明さん、大枝幹夫さん、板井川浩さん、杉山さと美さん、今井達也さん、藤井謙志（幹事）

※若手会員が参加し易いように、プレイフィアの安いコースの検討も行っております。次回開催はコースを変更する可能性があります。お奨めのコースがありましたらご一報下さい。



紅葉の前での全員集合写真



朝の集合写真（9名）



八木重二郎さんティーショット



杉山さんティーショット



今井さんティーショット

秋の紅葉ウォーキング 2023

本部・副本部長 岡本 達也（会員No.670）

2023 年の東京紅葉ウォーキングを12月2日（土）に開催しました。今回の参加者は 11名で、東京駅丸の内南口はとバスのりばに集合し、ウォーキングは名ばかりの「はとバス」ツアーで秋の紅葉を楽しむ企画でした。丸の内を 11 時に出発し、日比谷公園、霞ヶ関、国会議事堂、虎ノ門ヒルズ、東京タワー、レインボーブリッジ、お台場、豊洲、築地、歌舞伎座、銀座を廻り約 1 時間で丸の内に戻るコースを皆で楽しみました。

2 階建てオープンバスでの運行で東京の名所を駆け抜け、木々の紅葉を楽しみました。12 月の師走のオープンバスで、さぞ寒いのではと危惧しましたが、当日は晴天で気温も高く、清々しい気持ちで都内の名所を楽しみました。



【写真1 はとバス前での集合写真】



【写真2 はとバス内で和気あいあい】



【写真3 オープンバスからの眺め】

12 時に東京駅丸の内に戻ってきて、「はとバス」紅葉ツアーを終了し、次に山手線線路沿いをそのまま有楽町方面へ散歩し、線路ガード下の「三九厨房有楽町店」での親睦会に突入しました。昼のランチ程度と幹事は考えておりましたが、本気の昼飲み中途から形が変わり、気付けば 16 時解散と 4 時間もの間、親睦で盛り上がりました。改めて、特に女性陣のお酒の強さに感服した次第です。当日は山口セタ会への新人会員 2 名も加わり、無事に秋の紅葉ウォーキング（はとバス編）を完走しました



【写真4 ガード下での親睦会】

山口七夕会秋の交流会の報告

本部・幹事 岡崎 龍也（会員No.702）

「秋の交流会」は12月15日（土）11時から、飯田橋のインテリジェントロビー・ルコで開催され、30余名の出席がありました。講演会は、株式会社レノファ山口 代表取締役 小山 文彦氏による「レノファ山口FCの過去・現在・未来」です。

この日、山口県は悪天候により、宇部空港からの航空機が欠航、講師の小山氏は急遽新幹線での上京となり、やむなく11時30分ごろの到着となるハプニングが発生。この間、レノファ山口事業部上利 直輝氏よりレノファ山口の紹介がありました。レノファ山口は、前身の山口教員団を経て2006年4月に設立、現在J2リーグに所属、山口県のすべての市町がホームタウン、オール山口で「地方創生、まちづくり」にも取り組んでいます。

会場到着後、直ちに小山氏による講演が開始。小山氏は徳山市（周南市）出身で、大学卒業後は東京で会社員を経験、33歳で起業、43歳で会社を売却し、別会社の第二創業に参画。2020年J2最下位に落ちたのを見て、何かできないかとクラブに電話したのがきっかけとなり2022年に社長に就任されました。

レノファ山口は、2014年JFL昇格、株式化2015年J3昇格&優勝、2016年J2昇格と「栄光の3年間」を経て、2018年過去最高のJ2で8位（前半は2位）となりましたが、その後低迷。2022年社長就任後は、直前期の赤字見込みが5,000万円との話が蓋を開けると、1.2億円になるなどそのほかのトラブルにも遭遇、直ちに4億円の増資を実施し債務超過を解消しました。

2022年12月にはチームの主将だった渡部氏を社長に抜擢、菊池氏をアカデミーコーチに、佐藤氏をスカウトに（所属プロ選手のフロント入りは初めて）自らは会長に就任。2023年4月に決算発表し、計画より早く黒字化を実現しました。一方でチームの成績不振から5月には監督・GMの退任と外人新監督の就任がありました。

今後のシーズン目標（2023年20位）については、短期契約のため選手の個々の目標は高いが、クラブの経済順位（営業収入等経営状況、2022年34位/Jリーグ60クラブ）などを踏まえつつ、「編成、アカデミー育成、ホームゲームの運営、スポンサー営業をはじめとするクラブ内の機能を高めて、少しでも順位を上げていきたい、生きているうちにJ1を見たい。」とし、「考え方の刷新」「プロス

カウトの活用、体制強化」「選手強化システムの構築」といった強化策、U18の寮を山陽小野田市に移転しトップと交流させる、U15県極東部（岩国）の拠点設置といったアカデミー育成に取り組むとされました。

最後に「レノファ山口に関わる方が、生活を共にする方が1人でも多く増えたら良いと思います。」と想いを語られました。

講演会後の懇親会は石田順康顧問の乾杯のご発声後、小山会長自らじゃんけんの音頭をとり、恒例の「じゃんけん大会」を開催、レノファ山口の公式ユニフォーム、池上丈二選手のサイン色紙などレノファ山口関連グッズが提供され、大いに盛り上がりしました。

最期は会員でもある歌手吉田美香さんと一緒に「ホワイト・クリスマス」「きよしこの夜」を歌って盛会のうちに終了しました。



「山口国際フレンズネット実行委員会」の立ち上げと最初のイベント

ふるさと山口本部アドバイザー 渡邊 史信（会員No.364）

昨年9月発行の会報52号にて若干触れましたが、山口市の更なる国際化の推進のために立ち上げました新しい組織とその活動につきまして、以下ご披露いたします。

私は昨春50年ぶりに東京から山口市へ移住いたしました。そして5月の初めに縁ありまして、市内の7つの国際交流団体のトップの方々と一緒にする機会を得ました、そこで、歴史と伝統のある各団体はそれぞれが特色ある色々な活動を独自に行ってきたが、一緒になって何かをやる機会はなかったとの事で、要は「山口市に本拠地をもつ国際交流団体が集まって何かできないか？まとめ役は新参者のお前がやれ」という事になった次第です。そこで他の団体にも声をかけ始めたところ、ご紹介も色々ありまして最終的には15団体を結集することができました。山口七夕会も「ふるさと山口本部」として、支援をしていたくことになりました。

7月18日に各団体のトップの方々に参加していただき、設立総会を開催し、発足致しました。発足時の名称は「山口国際フレンズネット」でしたが、会則制定会議を9月19日に開催し、「山口国際フレンズネット実行委員会」としてスタートすることにして、私が委員長を拝命いたしました。

設立目的と加盟団体は以下です。

◆設立目的：

「国際交流団体のネットワーク化により、国際交流の促進と地域活性化への貢献をする」

◆加盟団体：計12団体（あいうえお順 / 除く山口・山口市・山口県）

- *山口 EU 協会
- *山口スペイン・ナバラ協会
- *山口日英協会
- *山口日独協会
- *山口日仏協会
- *山口市日韓親善協会
- *山口日本フィンランド協会
- *山口県ブラジル親善協会

- *山口県ペルー協会
- *日伊協会ヨベスト山口
- *国際交流ひらかわの風の会
- *Soft Bach Society Yamaguchi

◆支援団体：山口七夕会ふるさと山口本部

◆支援・協力団体：

山口県 JICA デスク、NPO 法人シャンティール山口（イベント毎に個別参加）

何をすればいいかは色々模索し議論をしました。その結果、まずは年末12月をターゲットに「12月、山口市はクリスマス市になる。」という山口市全市を挙げての一大イベントに参加することと致しました。実質7月の本会の立上げから時間的余裕がなく、少数の実行委員会に「ペルー、フィンランド、イタリア、ひらかわ+ドイツ・スペイン・フランス」の代表者・事務局長の方々に入っていただき、実際の実務を行っていただきました。やると決めたイベントは以下の4つです。

①12月2日(土) @サビエル教会主催：

教会前庭クリスマスマルシェに参加（テント5張使用）
フレンズネット共同・日独・日本ペルー・日フィン・ひらかわの風の会

②12月3日(日) @セントコア山口

フレンズネット加盟団体合同交流・懇親会



③12月9日(土) @C・S赤レンガ



加盟団体合同展示・ワークショップ



サンタとの撮影会

@一の坂川交通交流広場



本場パエリア 300 食調理販売・キッチンカー



④12月12日～20日 @市役所1階ロビー



加盟団体展示会

当会主催の対外行事である③につきましては、約480名以上の来客を得て、④も含め

てマスコミにも大きく取り上げていただきました。(C-able 山口, NHK(2回), KRY, YAB, 宇部日報(2回), 朝日新聞, 毎日新聞)

様々な団体をまとめつつ協力を得て、一つ一つ課題を解決しながらイベントを実行するという苦勞の多い期間でしたが、今後に向けて大いに手ごたえのある充実した期間でした。各団体・市役所・七夕会の関係者のご理解とご協力に大いに感謝申し上げます。

『閑話休題』

会報第 52 号にていささか山口市を褒めすぎた(?) ようです。

1. 一の坂川周辺のゴミの話・・・「祭りの翌朝ゴミが一つもなかった」のは事実ですが、しばらくたつと遊歩道の植栽にも川の中にもゴミが目立ってきております。タバコの吸い殻も誰かがまとめて捨てるか、その場所を吸う場所に決めてポイ捨てしているようですね。一方で自発的にゴミを拾っている人も見かけます。私も可能な限り拾うようにしていますが・・・

2. 鳥の話・・・「カラスを見かけないのはゴミが少ないからか?」と思いましたが、カラスは十分に目につきますね。鳩も多く、我が家のベランダがフン害で、フクロウの鳩除けを置いたら来なくなりました。

3. 運転マナー・・・某知人から「渡邊さん、運転マナーがいいように見えるのはパトカーがよく隠れている一部の場所だけです」と言われました。その気で見ていると確かにそうです。皆さん、特に速度制限と横断歩道の一時停止はどこでも守りましょう!ね。

ということで、NY Times 推薦の世界に誇る「訪れてみたい(もらいたい)街山口」ですが、こういったことから市民レベルで地道に始めないといけませんね。一方子供たちが元気な声で「こんにちは!」と声をかけてくれるのは気持ちがいいものです。それに対してきちんと声を出して返事をしてあげましょうね。それより、先に挨拶をしましょう。大人同士でも目が合ったら(気持ち悪くならない程度に)微笑みましょう。睨み返してはだめです!これこそ国際化の第一歩でもあります。

わたしと京子さんと講談と

大加瀬 裕美（会員No.861）（新会員）

神田京子さんとの出会いはかれこれ6年前に遡ります。
知人に連れられた蕎麦屋さんで初めて聴いたのが、京子さんの夏の怪談シリーズ。

講談というものがどういうものか知らないまま「夏に怪談を聴くのは涼しい心地になれていいだろうな」と軽い気持ちで参加したのです。

会場に凜として響く声の美しさ。

京子さんが話を進めるほどに、情景が目の前に広がります。

わたしは本を読んであれこれ想像するのが大好きですが、講談を聴いて想像をめぐらすのも面白いことに、この時気が付いたのです。

京子さんの講談に触れたことがきっかけで、それから講談や落語を聴きにいく機会が増えました。そうこうしていると、本と講談・落語の異なるところに気が付くようになりました。それはライブならではのものです。講談・落語は、話し手と会場にいるお客さまとで作られる、何とも言えない心地良さがあるのです。そこからさらに、講談・落語にはまっていくのでした。

このときはまだ、京子さんとこんなにご縁が深くなるとは想像だにしておらず、一方的に京子さんを知っているというものでしたが、その後、京子さんとのご縁が深まる出来事が起きました。2020年に京子さんが子育てのため、山口市に移住したのです。そのとき、わたしはアメリカ・テキサス・ヒューストンにいて、詳しい状況を知らなかったのですが、京子さんが日々フェイスブックやインスタグラムに投稿する山口の風景が本当に美しく、自分の故郷が如何に美しいところであったかを再発見するという得難い体験をさせてもらいました。

コロナも落ち着きを見せようとしていたころ、わたしを京子さんの講談に誘ってくださった方と京子さんにご一緒する機会がありました。そのとき「2024年1月25日に東京・有楽町のよみうりホールで1,000人の前で大独演会をする！」と前人未踏のチャレンジを京子さんから聞いて物凄くワクワクしました。「自分になにができるかわからないけれど、ぜひ京子さんのチャレンジを手伝わせてほしい！！」とその場で伝えていました。（この熱い思いが京子さんにも伝わり、そ

の後、神田京子大独演会実行委員、京子マネージャーをやらせてもらっています！）

京子さんの1月の有楽町よみうりホールでの演目は「金子みすゞ」。

2021年に京子さんの「金子みすゞ」を初めて聞いたとき、そんなつもりはなかったのにわたしは号泣しました。心がすっかり洗われた気がしたのです。

それから何度か京子さんの金子みすゞを聞きましたが、毎回凄味を増し、毎度泣かされています。

京子さんが山口に移住していなければ、京子さんが金子みすゞに惹かれなければ、この舞台は存在していなかったと思います。いくつもの偶然が重なった、というよりも必然だったのです。金子みすゞさんにも子供が一人おり、京子さんも母親。金子みすゞのこと、金子みすゞの想いを、誰よりも熱く、そして客観的にとらえた京子さんの講談が本当に楽しみでなりません。

2024年1月25日、有楽町で逢いましょう。

（※2024年1月4日受稿）



叶純子コンサートレポート

本部・幹事 岡崎 龍也（会員No.702）

山口七夕会会員叶純子さん（会員No. 855）の「2023 叶純子 ファミリーコンサート♪」に行ってきました。叶さんは私のご近所ということもあり個人的にも応援しています。



【熱唱する叶純子さん】

叶純子さんは、萩市出身、防府市で美容師見習い生として働いているときに作曲家の鈴木淳氏にスカウトされ上京、黒木憲（故）さんと「粋な夜」でデビュー、その後CBS ソニーより「酔いどれ涙酒」でソロデビューしました。最近では「ああ... 大阪」をリリース、現在も活躍されています。

山口市には知人も多く、若いころの思い出もあり大好きな街とのことで、山口七夕会に入られたそうです。

当日、会場の杉並区勤労福祉会館前には行列ができました。コンサートは沢木 柳さんを皮切りに、満を持して叶さんが登場、始めの歌は故郷の思い出がある「～旅立ち～萩の女」です。

その後、三貴 哲成（三好 鉄生）の大ヒット曲「すごい男の唄」や往年の名歌手笹みどりさんも名曲「下町育ち」を歌われました。叶さん自ら出演の寸劇「サギの恩返し」も楽しい企画でした。

最後に、叶さんが再登場、「夢迷子～同床異夢～」など自らの曲を熱唱、長年のファンも多数参加されており、ステージから降りて会場を隈なく廻られるなど、とてもフレンドリーな素晴らしいコンサートとなりました。

コンサートの4日前には旭酒造の桜井一宏社長から応援の「新生獺祭」が届きました。

叶さんは西部新宿線、鷺ノ宮駅近くで、自らの唄「夢迷子」と名付けたお店も経営されています。

東京を中心にコンサートなど様々なイベントに出演されていますので、よろしかったらご参加ください。



【笹みどりさんと記念の一枚】



【三貴哲成(三好鉄生)さん】



私が、山口市に定住をきめた訳・・・「縁ありて山口」

原田 哲也（会員No.759）

山口のこの度ご縁があつて、「山口七夕会の会報」の表紙に我が作品を掲載頂き、心から感激しています。「積雪の瑠璃光寺・五重塔、東雲（しのめ）の刹那：和紙に墨」と命名した水墨画作品です。この国宝・五重塔には心底惚れこんでいます。九州出身で、「長崎龍馬会」に所属する私が、何故、山口の地に定住する事になったのか、その経緯をご紹介させていただきます。「ふるさとの味」が何たるか・・・そんなことも知らない、山口県民としては、まだまだ赤ちゃんである私が今回、会報山口七夕会～ふるさとの味めぐり～のバトンを預かることになりました。

令和6年で、山口市在住22年目になります。出身は福岡県北九州市です。

先祖は、明治の八幡製鉄を中心に一躍大都市になった、かの地に夢を託し父方は、天領であった大分県・日田、そして母方は、四国・伊予から移住し北九州に根を降ろしました。

北九州市の実家の側を旧長崎街道が通っており、小倉を起点とし、終着点が、「竜馬が夢を託した長崎」。フェイスブックで知り合った「長崎龍馬会・中村会長」のお勧めで、「長崎龍馬会」の会員になり、今ではその「長州支部長」を仰せつかっています。

若いころに読んだ司馬遼太郎の「竜馬がゆく」にのめり込み、大の竜馬ファン、司馬遼太郎のファンになりました。

その後、司馬氏のフィクションの「竜馬」とは異なる「坂本龍馬」の真実を深堀し、「幕末維新では、稀有な構想を持って活動した龍馬」にますます魅了されました。龍馬会の人脈の影響、さらには、龍馬、海舟らご子孫とのご縁も貴重な宝物です。

私は、40年間の製薬会社の営業職を務めあげ、いわゆる転勤族でした。そして、サラリーマン時代の最後の勤務地が、山口でした。

一戸建て物件を購入し、定年後も棲みついています。田園地帯で長閑です。

山口に何故定住を決めたのか・・・？

それは、司馬小説にのめり込む中で出会った「世に棲む日日：高杉晋作や、松下村塾の門下生、そして吉田松陰の生涯を語る小説」に感動し、彼らを生んだ「山口・長州」に深い興味をずっと感じていた事に発します。

平成20年に山口に転勤し、歴史仲間と出会い、「NP0 法人防長史楽会」を発足して、幕末維新の史跡を探訪したり、講演会や、演劇、展示会、書籍出版等々を展開しました。



【活動していた頃の防長史楽会の様子】

また、山口の自然は素晴らしく、趣味の登山でも、多くのお仲間ができました。その「暖かい山口の方々の人から」・「風土」に「ほれ込み!!」、定住を決めたのです。

ふるさと山口本部の申神本部長は、私にとって大切なお仲間の一人です。

私の一番の趣味は「創作活動」です。

ご縁あつて「山口市菜香亭さん」のイベント・ポスター作成や、「なりきり雪舟イベント」で、「雪舟の四季山水長巻図」の模写に取り組んだり、「瑠璃光寺・五重塔」の「モザイクアート」のプロデュースを手掛けたり。

「湯田温泉・狐の足あと」での2期に渡る「地酒とコラボの維新の志士のタペストリー」を作成したり、「湯田温泉白狐祭り」のパレードへの参加等、様々なイベントに参画させて頂きました。

その中で、今回の「会報 山口七夕会」の表紙に我が作品「積雪の瑠璃光寺・五重塔」を掲載頂きました。

水墨画経験は、3年前に、山口市菜香亭さんから、「雪舟の四季山水長巻図」の模写の依頼があり、絵仲間の三人で、約一か月をかけて、12mの大作を仕上げました。



【仲間三人で描いた四季山水長巻図の模写】

絵画・特に水墨画は、師匠の模写を通じて技術を習得すると言われています。

水墨画の常道では無いかもしれませんが、それなりの水墨画が描けるようになりました。

現在、「令和の大改修」で、当面観ることのできない「国宝・五重塔」を偲んで頂ければ幸いです。

まだ「雪つり」も無かったころの雪景色を雪舟風水墨画に仕上げました。



【積雪の瑠璃光寺・五重塔、東雲の刹那】

今は「防長創作会」を立ち上げ、昨年9月に山口市菜香亭で「第1回展示会」開催しました。ふるさと山口本部幹事の森永氏が会長です。

七夕会の人脈を通じての更なる発展を夢見ています。



【二人の孫の山口大神宮・宮参りのイラスト】

人口減少を憂う昨今の山口県ですが、我が家族：我ら夫婦と、山口県内で就職し、婚姻し定住した長男・長女。そして、それぞれに一昨年「孫」が生まれ、計6人の山口県人口増加に貢献いたしました。

今後とも、「山口」をこよなく愛する原田（画号：仙哲）を皆さま何卒よろしくお願い申し上げます。



【第61回パリ祭】
(東京ドームシティホテル)

私とシャンソン

山口七夕会ふるさと大使 山口 蘭子 (伊藤あゆ子) (会員No.583)

山口七夕会の皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお
願い申し上げます。

コロナ禍も一段落して、世の中も、また音楽業界も廻り始めました。
寄稿によせて七夕会とのご縁を振り返ってみたいと思います。

平成28年、春の会員交流会／卓話「音楽と私」
を承りました。また同じ年に「かなめ会総会」のア
トラクションで”人生を彩る歌たち”と題し、シ
ャンソン・タンゴ・ラテン、そして、ふるさとの母
の歌などご披露(於；ホテル亀福)。山口中央高校
の同級生や先輩方、先生方とも再会し、とても嬉
しいひとときでした。普段はなかなか聴けないジ
ャンルの歌なので皆様が大変感激して下さい、翌
年はカリエンテ山口(山口県婦人教育文化会館)
でのコンサートが催されました。

ここでは、東京で一緒に活動しています萩出
身のピアニスト上里知己さん、奥様が萩出身のフ
ランス人アコーディオニストのパトリック・ヌジ
ェさんと共演。サブタイトルは～山口の空の下シ
ャンソンは流れる～。その後、山口七夕会ふるさ
と大使を仰せつかりました。

今年、広島のリブハウスからオファーがあり
ましたので、久しぶりに山口まで脚をのばしてみ
ようかと思い立ちました。これまで培って来た音
楽で山口七夕会ふるさと大使責任を少しでも果た
せたら幸いです。個人的には、コロナ禍の間シ
ャンソンのエディット・ピアフの研究をしておりコ
ンサートも2回、石井好子音楽事務所からの要請
で催されました。ピアフの十代の路上歌手時代か
ら47才で亡くなるまでの歌を掘り起こし、今まで
注目されなかった歌”青のシャンソン”、幻の曲
フランシス・レイ作曲の”ベルリンの男”なども
自ら訳詞を付けました。定期的な活動はシ
ャンソンのパリ祭(於；今年は東京ドームシティーホー
ル)です。

他にアルゼンチンタンゴはレジェンド菅原洋一
さんと数年にわたり一緒にさせていただいていま
す(東京文化会館、横浜みなとみらいホールなど)。
ご高齢になれましたが歌に対する姿勢に頭が下
がります。

ラテンは8人編成のロス・ムチャーチョス(元
有馬徹ノーチェ・クバーナ、ペドロ&カプリシャ
スのメンバー)と毎年上野精養軒にてクリスマス・
ディナーショーを催しています。

余談ですが、昨年11月にBS7チャンネルで私
のタンゴ”雨に咲く花”が全国放送されました。

蔵出し映像でしたが多くの嬉しい反響がありま
した。この曲は昭和10年に声楽家の関種子さんが
タンゴで歌われ、井上ひろしさんはリバイバルヒ
ット!!、その後、コロムビアデビュー2年目の私
はビクターの大ベテラン故青江三奈さんと競作。
映像ではこの昭和の名曲をスペイン語を交えて歌
っています。

4月12日の「山口ふるさとライブ」は、山口市
出身の関周さん、宇部在住の大塚真理子さんと共
演します。ピアノは萩出身の上里知己さん。今回
はふるさと山口本部事務局長の庄栄一郎様に多大
なご尽力を下さり、山口七夕会のご後援もいただ
きました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。



【アルゼンチンタンゴコンサート】
(菅原洋一さんと共に)

山口ふるさとライブ



Vo: 大塚真理子

Vo: 山口蘭子

Vo: 関 周

2024
4/12(金)

開場:13:30
開演:14:00~
入場料: ¥5,000
(当日券: ¥5,500)

PF: 上里知巳

会場: クリエイティブ・スペース赤れんが 〒753-0088 山口県山口市中原町 5-12
電話: 083-928-6666 FAX: 083-928-6611 メール: renga-ya@c-able.ne.jp

お申し込み・お問い合わせ先:
山口七夕会ふるさと山口本部事務局
事務局長: 庄栄一郎 電話: 080-1912-1800

後援: 山口市 山口七夕会 (財) 防長倶楽部



プロフィール

山口蘭子 (やまぐちらんこ) 山口県山口市出身。
早稲田大学仏文科卒業。NHK オーディション合格。日本コロムビアよりデビュー。
国際放送やFM放送出演、明治大学マンドリン倶楽部の全国公演の客演で活躍。
“有馬龍ノチム・クバーナ”の専属歌手を経てマランド楽団など世界の一流楽団との
海外録音やメキシコ録音の「タクルク・パロマ」、ジャンソン「愛の道」、オリジナル
愛のタンゴ」、「ステージ」、タンゴ「さらば草原よ」、などCD多数。
04年某国BBC放送のアルゼンチンタンゴの現代に活躍する歌手として選出。
11年〜12年“有馬龍ノチム・クバーナ”の民音ラテン公演にゲスト出演。
14年より“ジャンソンの祭典”パリ祭に連続出演。
同時期から現在まで、アルゼンチン・タンゴコンサートシリーズに菅原洋一氏と共に出演。
18年アルゼンチンタンゴ・ソロコンサート (＠東京文化会館小ホール)。
19年草月ホールにて日本コロムビアデビュー30周年コンサートを開催。
21年に続き22年“ピアへのオマージュコンサート”に出演。本邦初公開の
ピア新曲 (自身の家族) を含むライブCD “ピアへのオマージュ”の
ジャンソンの“を石井好子音楽事務所 (ネオ・ムスタ) より23年4月発売
ホームページ: <http://www.yamaguchiranko.com>

大塚茉莉子 (おおつか まりこ) 山口県宇部市出身。
幼少時より讃美歌合唱団にて中世ヨーロッパの楽曲を学び、ハンガリー、イタリアの
教会を巡る。その後声楽を学び、日本大学芸術学部音楽学科声楽コース入学。
アニメーション映画主題歌「大ちゃん、だいすき」、アニメーション「ヘタリア」
挿入歌、ネスカフェゴールドブレンドラジオCMなどメディア出演。
オリジナルアルバム「オアシス」、「F」を発表。現在全国各地で公演の他、自作曲を
中心とし、ジャンソンカヴァーを多くとり入れたステージを展開中。
毎週日曜日20時より、「静歌、大塚茉莉子」をYouTubeチャンネルにて配信中。

関 周 (せき あまね) 1962年10月8日生まれ。山口県山口市出身。
東京都北区でピアノ【ミュージカントあまね】を経営、2023年に20周年を迎えた。
近年は、ロマンチック☆安田 (ex. 輝輝ジョニー) など若いアーティストの創作の場として
店を提供、自身の楽曲の配信もする。JASRAC 専会員。
また、歌手として2019年に「パパの作りはなし」で若松崇雄のレコード会社よりデビュー。
ほか、山口高校時代に地元のバスケットボールを過ごし、高島平バスケットボール Met's
の「あまねコーチ」としても活動。

上里知巳 (あがり ともみ) 山口県出身。
上京して22歳の時、ブルーコープのピアニストに選ばれる。次いで藤家弘ニクインテット
に参加したが、78年ブラジルに渡り、リオデジャネイロの放送局にアレンジャー・ピアニスト
として就職。3年半余を南米諸国で活躍。帰国後はジャンルにこだわらない演奏活動をしている。

日本からアメリカ合衆国へ、和・フォーコーナーズ・ツアー

棟久 佳代子（会員No.843）

一般社団法人 YMA 山口ミュージックアカデミー（代表：棟久佳代子）は、芸術文化の普及向上とその高揚、及び音楽を核とした各種企画、事業活動やイベントを通じ、地域・産業との交流促進や情報を構築し、魅力ある街づくりと音のある風景の醸成を推進することを目的として各種事業を行っています。

この度 YMA は、2023 年 10 月 25 日から 11 月 12 日、日本の音楽家（ピアニスト 2 名、トランペット奏者 1 名、バリトン歌手 1 名、ギター奏者 1 名、箏・尺八奏者 1 名）でアメリカを訪問し、アメリカの演奏家や大学生とのコンサートやワークショップを通じて日米文化交流を行うツアーを実施しました。

このコンサートの旅は、世界的オペラ歌手であり、アメリカユタ州ユタ大学教授のカースティンチャベズと山口ミュージックアカデミーの共同企画によるものであり、発案・企画・実行まで約 1 年間をかけました。

カースティンは 4 回（4 年間来日）に及ぶ日本での学校コンサートに参加し、子どもたちのコンサートに対する反応と喜び、驚きに感銘を受け自国のアメリカでも学校コンサートをしたいと考えていました。

ミッションはアリゾナ州フェニックスとユタ州ソルトレイクシティでアメリカの小学校、中学校、高等学校、大学でのコンサートと日本庭園でのお月見会参加。日本の音楽や大道芸能の披露。

●2023 年 10 月 26 日（木）

日本出発 26 日（木）フェニックス着（時差 16 時間）

フェニックスは砂漠とサボテンの地区。そこらの道端にサボテンが自生しています。

夏は 40 度越え。10 月は 30 度程度の気温。暑い！エアコン（冷房）のお世話になりました。

●10 月 28 日（土）29 日（日）

日本ガーデンお月見会（日本庭園で日本文化の披露）

広く立派な日本庭園には東屋やお茶室、巨大な池があり、日本グッズや日本酒、たこ焼きなどの屋台も沢山出てそこだけを見ると日本に居るようですが、来場者は 2 日合わせて 2,000 名の親日家のアメリカ人。

お箏・日本の歌・南京玉すだれを披露し、大きな声援を受けました。

●10 月 31 日（火）11 月 1 日（水）

午前午後、フェニックスの小学校・中学校・高等学校 4 校のコンサートを行いました。アメリカの

子どもたちの反応は、1 曲終了後、拍手・声援・指笛・足鳴らしで演奏をした私たちに対して喜びや敬意を表現し、積極的な質問など大変自由な感じで、演奏者も気分が大変上がりました。各学校に立派なホールがあり羨ましい限りでした。

●11 月 2 日から 3 日間

アリゾナ州フェニックスからユタ州ソルトレイクまで車で 1,000 キロの移動をしました。7 名乗りの車に 7 名と 7 名分の荷物、10kg のフレンチブル 1 匹、2 メートルの箏、もちろん私達の足元や膝上まで荷物がびっしりあり身動きどころか足も動かせず、かろうじて首だけを横に動かして移りゆくキャニオンやどこまでも真っ直ぐな道を見てアメリカの大きさを感じました。

●11 月 4 日（土）夜

ユタ州ソルトレイクシティ着。

ソルトレイクは 2002 年冬季オリンピックがあった所で、11 月の初めは雪が降っていました。毎日 0 度程度で寒いイメージがありました。エアコン（暖房）のお世話になりました。

きれいな新しい街だという印象があります。街も碁盤の目のように整備されていました。

●11 月 5 日（日）

ユタ大学教授たちのコンサートでは箏の奏者、ピアノでカースティンの歌の伴奏で参加。

●11 月 6 日（月）、7 日（火）、8 日（水）、9 日（木）、10 日（金）

13 回のコンサートに参加。

特に印象深かったのはユタ大学の音楽セクションの学生たちにチーム山口のコンサートを聴いてもらった事と質疑応答で自分たちの考えを学生たちに発表できたこと。

ユタ大学のオペラセクションの学生たちと世界初演の「NIPPON NO UTA」をコラボレーションができたこと。「NIPPON NO UTA」は日本の民謡、(沖縄より安里屋ゆんた・こきりこ・南部牛追歌・ソーラン節)をボーカル、コーラス、箏、ピアノ、トランペット(尺八のつもり)、和太鼓に編曲を日本の作曲家に依頼しました。

ユタ大学のオペラセクションの学生たち 16 名にコーラスを担当してもらいました。20 分の大曲で無事世界初演を果たしました。

今年の目標は「NIPPON NO UTA」を山口で日本初演をすること。

アメリカの子供たちは冷ややかな反応だとアメリカ人から聞いていましたが、そんな事は無く、あくまで学校コンサートで感じた事です。礼儀正しく(道を避けてくれる)自分の考えを持ち(コンサートの感想をしっかりと発表できる)自分の感情に素直(嬉しい時はハッチャケる)でした。

今回はアメリカ 2 箇所の滞在でしたがアメリカは広い!!!

人は明るい! スーパーは品物が多い!

山口の国際化を望んでいます。

山口と海外の交流が盛んになって欲しいです。

3 月には子供達を連れて国際交流とコンサートをスイス・フランス・ドイツで行います。

今は準備に追われています。



【フェニックスのジャパニーズガーデンの一コマ】



【小学校での学校コンサートの様子】



【小学校での学校コンサートの様子】



【ユタ大学でのコンサートの後の記念撮影】
(学生や大学教授たちとホットー息)



【グランドキャニオンに立ち寄って】

＜ 新入会員(個人会員番号・氏名)の皆さん ＞

《令和5年9月号掲載以降の新入会員》 ※氏名、住所は公開会員名簿への掲載承諾者のみ

会員番号	氏名	住所	会員番号	氏名	住所
857	桐原 きよみ	山口県美祢市	860	杉山 敏美	東京都港区
858	神保 士朗	東京都北区	861	大加瀬 裕美	東京都中央区
859			862		

令和6年1月20日現在の会員数：個人会員378人、法人会員24

＜ 山口七夕会ふるさと山口本部「冬の徳佐を楽しむ会」のお知らせ ＞

- 日時：令和6年2月25日（日）10:20～15:30
- 場所：山口市阿東地域交流センター
- 会費：4,500円（交流会費）、送迎バス代は別途 ※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

＜ 山口七夕会ふるさと山口本部「酎祭(たけなわさい)」のお知らせ ＞

- 日時：令和6年3月2日（土）講演会 18:00～19:00 交流会 19:00～21:00
- 場所：セントコア山口（山口市湯田温泉3丁目2-7 TEL 083-922-0811）
- 講演：やまぐちのお酒は 旨い魚と小咄で呑む
- 講師：秋貞憲治（村岡つぐまさ事務所事務局長）
- 会費：7,000円（講演会のみは1,000円） ※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

＜ 令和5年度山口七夕会“春の交流会”のお知らせ ＞

- 日時：令和6年3月23日（土）11:00～14:30（受付会誌10:30）
- 場所：「インテリジェントロビー・ルコ」東京都新宿区揚場町 2-1 軽子坂MNビル 1F
- 内容：【Ⅰ】講演会 11:00～12:00 講師 山口七夕会会長 秋草史幸
演題 『金融にまつわるこぼれ話』
【Ⅱ】交流会 12:15～14:30 恒例 山口グッズがもらえる「じゃんけん大会」他
- 会費：6,000円 ※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

＜ 令和5年度山口七夕会“春の花見ウォーキング”のお知らせ ＞

- 日時：令和6年3月23日（土）14:30～19:30
- 内容：【Ⅰ】花見ウォーキング 14:30～17:00
【Ⅱ】懇親会 17:30～19:30 ※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

＜ 山口七夕会 第9回八木重二郎杯 会員親睦ゴルフのご案内 ＞

- 日時：令和6年4月25日（木）am8:00 キャディーマスター前集合
- 場所：コース検討中
- 会費：プレー費＋飲食費（昼食/表彰式：各自精算）※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

＜ 第8回 山口七夕会ふるさと山口本部音楽祭「輪-RIN-」のお知らせ ＞

- 日時：令和6年5月25日（土） ※時間及び会費は調整中
- 場所：山口日産本社内ポルシェセンター（山口市大内千坊6丁目2-1）
- ゲスト：山口県庁グリーンクラブ

〈山口市役所より〉 山口市の広報について

平素から、山口七夕会の皆様におかれましては、本市の広報活動に多大なる御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度は、山口市公式ウェブサイトをご紹介します。サイトでは、市政情報のほか、観光情報や移住情報なども掲載しています。ぜひ、ふるさと山口の情報収集にご活用ください。

【山口市公式ウェブサイト】 <https://www.city.yamaguchi.lg.jp>



① トップコンテンツ

「ふるさと納税」や、「子育て情報」など、旬な話題の特設ページへリンクしています。

② 観光情報

「山口市観光情報サイト『西の京やまぐち』」がご覧いただけます。観光情報や体験プランをご紹介します。



③ 記者発表資料

市のプレスリリースを随時更新しています。

④ 市政トピックス

市政に関する主な出来事を掲載しています。

このほか、移住に関する支援情報や体験談を掲載している「すむ住む山口」を始め、多くの市政情報を、本サイトに掲載しています。



山口市LINE公式アカウントで
市政情報を配信中！



右の二次元コードから「友だち追加」できます。

山口市総合政策部 広報広聴課 広報担当

《tel》083-934-2753

《E-mail》 koho@city.yamaguchi.lg.jp

< 会報山口七夕会への投稿を募集します >

1. 大使の一言(「山口七夕ふるさと大使」の皆さんの自己紹介記事やメッセージ)
2. 私の一言(会員の皆さんの自己紹介記事やメッセージ)

★テーマの一例

- (1) 山口市に関する豆知識
- (2) 山口県外にある山口ゆかりのものや活動
- (3) 今、思っていること

★字数

1,200 字程度の文章と写真 2 枚程度を基準。紙面構成上、フォント、行間等を調整します。

★投稿締切

6月号(5月中旬)、9月号(8月中旬)、1月号(12月中旬)

★投稿提出先

下に電子データ(Word、テキスト形式など)でお送りください。

会報山口七夕会編集長(庄 栄一郎): ssho04281103@hi.enjoy.ne.jp

< 重要 > < 公開会員名簿への掲載承諾のお願い >

会員相互の交流促進や会の活性化に役立てばと、記載事項を限定した「公開会員名簿」を作成・発行しました。作成に当たっては、名簿への記載についての承諾を必要としておりますので、今後、趣旨に賛同していただける方は、記載を承諾する旨を下記まで連絡願います。「公開名簿で懐かしい名前を見つけて交流が再開した」といったことになればと考えています。

記

メールの場合: seki@8011.jp (関 周 宛)

郵送の場合: 〒114-0034 北区上十条 3-3-16 関 周 宛

< 重要 > < メールアドレス登録のお願い >

2024 年、山口七夕会はライブや各種イベント、ウェブ抽選会など「新しい企画」にどんどん取り組んでいきます。

新しい企画はメールを主用してご案内していきますので、メールアドレスの登録をお願いします。

現状、個人会員 378 名のうちでメールアドレスを登録されている方は 251 名ですが、その内の 37 名は送信不能ですので、既に登録されている方も確認のため再度登録をお願いします。

【登録方法】

●QRコードリーダ付きのスマートフォンから登録される方は、右のQRコードを読み込んでください。



●パソコンから登録される方は、本文にご自分のメールアドレスを入力して、「seki@8011.jp」にメールを送信してください。

【事務局からのご案内】

- ◎転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(ご連絡がないと会報 山口七夕会や市報等の資料が届かなくなってしまう)
- ◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(会員録の整理などの事務手続に必要となります)

事務局(山口市企画経営課内)
〒753-8650 山口市亀山町2番1号
《TEL》083-934-2746
《E-mail》kikaku@city.yamaguchi.lg.jp

【編集後記】

会員の皆さん、明けましておめでとうございます。年明け早々、大きな事件が立て続けに発生しました。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、能登半島地震が早く収束し、被災された皆さんへの救援、安心安全な暮らしの確保が一日でも早く進むことを心より祈念します。

さて、私の勤務地は山口県大島郡周防大島町です。実は周防大島、近い将来発生が予想される東南海・南海地震防災対策推進地域に山口県内で唯一指定されています。

周防大島町には津波に関する伝承がいくつか残っていますが、1854年12月に発生した安政南海地震で大津波が海抜16mの地点まで到達した、という言い伝えを風化させることなく次世代に伝承し警鐘するために「安政南海地震津波到達碑」もあります。東南海・南海地震は起こってほしくはありませんが、確率的にはあと10年ぐらいの内に発生すると言われています。山口市は近年、大きな地震の被害がありませんが、国道9号線に沿って大原湖断層・小郡断層という活断層があります。

地震大国日本で暮らす以上、地震に対する備えは必要不可欠ですね。

さてさて、海外より嬉しいニュースも飛び込んできました。米有力紙ニューヨーク・タイムズが、世界各地の旅行先の中で「2024年に行くべき52カ所」を発表し、山口市が3番目に上げられたと。

ちなみに1番目は4月の北米の皆既日食、2番目はフランス・パリ。

山口市については、「西の京都とも呼ばれるが、観光客で混雑しておらず、約600年の歴史がある山口祇園祭も開催されている」と評価。国宝瑠璃光寺五重塔や洞春寺の境内にある陶芸工房、昔ながらの喫茶店、湯田温泉などを紹介。

これから外国人観光客の増加が予想される山口市。「郷土山口市の発展に寄与する」を会の目的に掲げる山口七夕会。山口市発展のために、各種イベントを通じての山口市の魅力の更なる発信、そして国内外からお越しいただいた方へのおもてなしで協力していけたらと思います。

機関紙編集長(ふるさと山口本部事務局長) 庄 栄一郎



安政南海地震津波到達碑
(周防大島町外入)



ニューヨーク・タイムズのHP画面